

編入学の際に準備物 Q&A

台北日本人学校では、日本の小学校や中学校で使用している学用品で勉強することがよくあります。基本的に台湾は日本から近く、多くの日本企業が台湾市場に参入しており、日本製品が手にはいりやすい環境にあります。また、長期休業中等に一時帰国する機会も他国よりは多いと思われるので、学用品を一時帰国の折に補充される方もいらっしゃると思います。台湾の学校で使用されている学用品も文化的な素地が似ていることもあり、日本の学用品と似たタイプのもので、こだわりがなければ、台北にいられてからでも揃えることが十分可能です。ただ、日本の書籍については種類に限りがあり、値段も若干高くなりますので、辞書類やきめ細かな参考書・問題集等はご準備されると良いと思われます。また、小学校でよくまとめて販売するような習字道具や裁縫道具のセットものについては台北で探すのは大変難しく、バラバラで買い集めることになります。もし、荷物等に余裕があるならば、現在の学校で使用しているものは、継続して使用できるものが大部分なので、持ってこられると良いでしょう。

Q&A

◆◆よくあるご質問 1 「通学のカバンは何でも良いですか？」◆◆

→基本的に学校指定はしていませんが、学校の通学に適したものでかまいません。小学部については両手があくりゅックやランドセルタイプにするようお願いしています。小学部はランドセルが多く(低学年8割程度、中学年5割程度、高学年3割程度ぐらいでしょうか)、中学部はエナメルバックやディバックが多いです。小学部低学年については校内で使用する音楽バック(ピアノや教科書が入るもの)、図書バック(図書室で借りた本を入れるもの)、お道具バック(はさみやのりなどの文具を入れて机の横にかけておく)が必要で、キルト地などで作られている保護者も多くいらっしゃいます。当面はあるもので対処し、学校にいられてから他の子どもたちの実物を見られてから準備したり、作成されればと思います。

◆◆よくあるご質問 2 「上履きはどんなタイプですか？」◆◆

→基本的に学校指定はしていませんが、運動に適したものでかまいません。小学部については日本の学校で使用しているバレーシューズタイプの上履きを使用していることが多いのですが、台北でも手に入りやすいため、日本から持って来られている方が多いと思います。本校では体育館履きを上履きが兼ねていますから高学年から中学生はスポーツシューズやスニーカーが増えます。小学部低学年は靴紐が結べないことが多く、靴紐がないタイプでご協力を願っています。

◆◆よくあるご質問 3 「弁当箱や水筒は日本と同様のものはありますか？」◆◆

→本校は給食がないため、毎日、お弁当持参になります。外注でお弁当を頼むこともできますが、外注の割合は1割から2割程度でほとんどの子どもがお弁当の持参となります。抗菌仕様のものや使い勝手が良いものなどにこだわらなければ、日本のお弁当箱も手に入ります。水筒は日本のメーカーも入っており、日本と同様の仕様のものがあります。外注で弁当を頼む子ども以外は水筒の中は水・お茶・スポーツ飲料としていますが、暑いためによく水を飲むため、砂糖が入っておらず、べたつかない水やお茶がほとんどです。校内の水道水は飲まないように指導していますので、子どもたちは飲料専用のウォータークーラーから水を飲んだり、水筒に補充したりしています。

◆◆よくあるご質問 4 「学校に通学する服装は？」◆◆

→本校は制服や標準服を指定しておらず、通学にふさわしい服装をして通学するように指導しています。夏は特に暑くなるのですが、児童生徒自身やその保護者の方々が常識的に判断していただいておりますので、サンダル履きの生徒や極端に肌を露出した服装などをしている生徒はおりません。活動しやすいTシャツやポロシャツ、スポーツウェアやハーフパンツやキュロットスカート、ジーンズ、サブリナパンツなどが多いように見受けられます。靴についても運動に適したものを通学用にするように指導しています。水泳の際には、プールまでビーチサンダルで移動しますので、水泳指導期間中は別途、ビーチサンダルが必要となり、教室においてプールに行く時のみ使用しています。本校では先生方も児童生徒の見本となるように教育活動に適した服装をTPOに合わせてしています。

◆◆よくある質問 5 「体育着や水着はどんなものを使用していますか？」◆◆

→体育着については一般的な白のシャツで下は白(小学生男子)や紺(小学生女子)のショートパンツや黒・紺等のハーフパンツ(中学生)を原則としています。白がベースでワンポイント程度のロゴ入りのTシャツや白のスポーツウェアでもかまいません。以前の学校で使用していた体育着(校章などが胸にあるタイプが多い)でも問題ありません。本校にも指定の体育着がありますが、すぐにサイズがない場合や欠品の場合があります。ハーフパンツやショートパンツも運動に適していれば大きな問題はなく、以前の学校で使用していた緑のものなどを使用している児童生徒もいます。また、小学生の児童は赤白帽を使用しますので、必ずご準備していただくようお願いいたします。(学校指定のお店で購入可能です。)加えて本校の校庭は赤土であるため、汚れやすく、また、気候が暑く汗もかきやすいため、複数の体育着をご準備いただくようご協力ください。水着は紺のスクール水着や競泳用の水着を基本としていますが、あまり細かく限定しておらず、男子でも競泳用のスイムスーツを着用している生徒もおります。水泳授業に適したものであれば、問題はなりません。帽子は着用、ゴーグルも着用を勧めしておりますので、ご準備ください。台湾はプールも多く、水泳や海水浴がさかんなので台北にいられてからでも十分購入が可能です。

◆◆よくある質問 6 「ノートや学用品の準備はどうしたら良いでしょうか？」◆◆

→台湾は日本と近く、また、日本製品もよくそろっています。ただし、日本語の書籍については若干割高になると特定の高校の入試問題集など細かな学習用書籍はそろいくいので、価格の高い辞書(国語辞典・漢字辞典・英和辞典等)や参考書・問題集などは日本で目的と使用学年にあったものを購入されてきた方がよい面もあります。授業で辞書を使用する際はいくらか学校に辞書のストックもありますから、長期に海外に滞在しているなどで手持ちでない場合は、学校のものを使用します。本校の近くにも大手の日本書籍を扱う本屋があり、こだわらなければ学習に関する書籍もそろえられます。ノートは現在使用しているものを継続して使用してもらってかまいませんが、学校の事務室でも日本のノートを1冊50~80元前後で販売しており、子どもたちはよく購入しています。その他の基本的な学用品については次の表を参考になさってください。また、習字道具や裁縫道具、水彩画道具は台北でも十分入手可能ですが、単品をバラバラで購入していくことが基本になるため、日本の学校で使用するようなセットになっているものは入手困難ですので、使用しているものがあるば持ってこられた方がよいと思います。

入学の際の準備物一覧(参考)

学用品 ◎日本で準備した方がよい ○種類・価格にこだわらなければ台北で入手容易 △台北で十分入手可能 ×使用しません							
学 年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中学部
ランドセル ※入手は困難	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×
・各種かばん(エナメルバックやリュック型タイプなど) ・小学部は、A4の入手さが2つほどあるとよいです。 (教室移動用)	△	△	△	△	△	△	△
鉛筆(小学部は、2B・Bなどの軟らかい鉛筆を使用しています。 小学部はシャープペンシルの使用はしないように指導しています)	△	△	△	△	△	△	△
フェルトペン(油性・水性どちらでも可)	△	△	△	△	△	△	×
油性マジック(名前を書くのに使用したりします)	○	○	○	○	○	○	○
上履き(いわゆるバレシューズ型の上履き) ※入手は困難	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
上履き(一般のスニーカータイプ)※低学年は靴紐がないタイプ 推奨	△	△	△	△	△	△	△
水筒・スクイズボトル	△	△	△	△	△	△	△
お弁当箱(抗菌仕様のもは手に入りにくいです)	○	○	○	○	○	○	○
体育着上(白を基調としたワンポイント程度のTシャツ等)	△	△	△	△	△	△	△
体育着下(白・紺を基調としたショートパンツ、ハーフパンツ等)	△	△	△	△	△	△	△
体育用赤白帽 ※学校の指定店で購入可能	○	○	○	○	○	○	×
水着・水泳帽・ゴーグル(スクール水着や競泳水着を推奨) ゴムが付いた巻きタオル等	△	△	△	△	△	△	△
のり(低学年は固定スティックのりが良いです)	△	△	△	△	△	△	△
はさみ(先が丸くて危険でないものを推奨しています)	△	△	△	△	△	△	△
水彩画(絵の具)道具(学習用のセットタイプ ※水入れがあるもの) ※日本製のものが発色がよいです。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
家庭科用の裁縫道具(学習用のセットタイプ)	×	×	×	×	◎	◎	◎
習字・書写道具(学習用のセットタイプ)	×	×	◎	◎	◎	◎	◎
墨汁	×	×	△	△	△	△	△
色鉛筆(12色以上を基本としています)	△	△	△	△	△	△	△
クレヨン・クレパス ※日本のように多くの種類はありません。	○	○	○	○	○	○	×
彫刻刀セット ※特にセットものは多くの種類がありません。	×	×	×	○	○	○	○
縄跳びロープ ※日本のように様々な種類は、あまりありません。	○	○	○	○	○	○	×
生活科探検バッグ(新1年生は、日本から一括購入します。) 3・4年生の社会科見学で使うことがあります。	◎	◎	◎	◎	×	×	×
遠足用敷き物	◎	◎	◎	◎	×	×	×
鍵盤ハーモニカ	○	○	○	○	○	○	×
カスタネット	○	×	×	×	×	×	×
リコーダー(小学部:ソプラノリコーダー、中学部:アルトリコーダー)	×	×	○	○	○	○	○
三角定規	×	△	△	△	△	△	△
分度器	×	×	×	△	△	△	△
30cm竹尺(小学部2年生算数で学習)	×	◎	×	×	×	×	×
コンパス(日本のものが質が良いようです。) ・低学年用箱型両開きふでばこ	×	×	×	△	△	△	△
◎	◎	×	×	×	×	×	×
国語辞典	×	×	◎	◎	◎	◎	◎
漢字辞典	×	×	×	◎	◎	◎	×
英和辞典 ※学年に応じた種類を考慮してください。	×	×	×	×	◎	◎	◎
学習用参考書・問題集 ※自習用。授業では使用しません。	○	○	○	○	○	◎	◎
私立中高や都道府県の入試問題集 ※授業では使用しません。	×	×	×	×	×	◎	◎

学校で扱っているノート ※アピカ株式会社の学習帳 http://www.apica.co.jp/product/note/moomin/index.html							
※学校の事務室で販売しているノートです。小学部1～3年は様式の基本が多くありますが、小学部高学年と中学部は各児童生徒の指向や学習の仕方により、多様になっていますので、準備されてもあまり使用しないこともあり得ます。参考程度になさってください。小学部高学年から中学部は一般の大学ノートを使用している児童生徒も多く、学校でもいくつかの種類を販売しています。本校では小学部5年生以上は教科担任制のため、各授業担当者により様々な学習形態があるため、小学部1～4年までとは異なり、教科ごとの準備が基本で任意や裁量によるものが多くなります。							
学 年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中学部
こくご・国語学習帳	10マス	15マス	12行	12行	任意	任意	×
かんじ・漢字練習帳		84字	100字	104字	150字	150字	×
作文帳	×	×	×	200字	200字	200字	×
さんすう・算数学習帳	7マス	17マス	5mm方眼	5mm方眼			×
連絡帳(小) ※担任の先生によって小か大かの推奨があり、台 連絡帳(大) 北に来られて準備しても大丈夫です。	9行	9行	9行	9行	9行	9行	×
	10行	10行	10行	10行	10行	10行	×
English Penmanship ※10段、13段、15段を自分にあわせ使用	×	×	×	×	任意	任意	任意